

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー機関誌

2014年12月号

はなしあい

題字 元総理 片山哲 筆

発行編集人

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー
代表理事 小久保 正

発行所

日本クリスチャン・アカデミー
京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
075 (711) 2147

NIPPON CHRISTIAN ACADEMY

第560号

クリスマス礼拝を終えて、その喜びを深くかみしめる時期に懐かしく迎えてくれる人たちの間に身を寄せます。一人はシメオン、もう一人はアンナ。マリヤとヨセフが幼子イエスを神殿に連れて来た時に出会った高齢の二人です。シメオンはその腕に幼子を抱き、「主よ、今こそあなたは、お言葉どおり このしもべを安らかに去らせてくださいませ。わたしはこの目であなたの救いを見たからです」と語ります。ヌンクデイミツティスと呼ばれるシメオンの賛歌です。(ルカによる福音書二章)

しかしその後、彼はマリヤに言います。「御覧なさい。この子は、イスラエルの多くの人を倒したり立ち上がらせたりするために定められ、また、反対を受けるしるしとして定められています。―あなた自身も剣で心を刺し貫かれます―多くの人の心にある思いがあらわにされるためです。」

シメオンは母親が聞いて喜ぶような、そして人々が待ち望んでいたような救い主の姿を言い表しませんでした。人々が立ちもすれば倒れもす

る、反対を受けるしるしになるのだと、そしてそれこそが救い主のしるしだと語ったのです。私はシメオンのことを考えるたびにイエーツの詩を思い起こします。

『老齢のための祈り』
「神よ、頭だけでものを考えることから
わたしを守ってください。
永遠の歌を歌う人間は



財団評議員
関東運営委員
増田 琴

待ちつつ望みつ

骨の髄で考えるからです。賢明な老人だとしてすべての人から賞賛されることから守ってください。詩作のせいで愚者でないと思われるとは心外です。わたしの祈りは 体裁を繕う言葉はやめて もう一度本音で祈ります

老齢で死去するときに 情熱的な愚者と思われることで

的 な愚者として自分の生涯をかけた言葉でした。どれほど困難であろうと、幼子イエスがその後歩む道しるべとなる言葉です。

神殿。それはルカによる福音書が記された時代(90年代)には、すでに結論が出た場所でした。イエスが十字架の上で死んで30数年経つとローマに反旗を翻したユダヤの抗戦派は神殿で戦闘体制を組立て、

穏健派と分裂したまま破滅へとひた走ります。神殿は崩壊しました。

そのことを知りつつなお、福音書記者が神殿でイスラエルが慰められることを待ち望んだ高齢の二人を記したのは、過去を忘れる者に希望は見えないことを伝えようとしたからでしょうか。

2014年のクリスマス。憲法改定、集団的自衛権、秘密保護法施行とこの国が舵を切ろうとしている中で、敗戦後70年を迎えようとしています。70年前、平和を希求した人々が祈りをもって待ち望んだのは、戦争を放棄し、一人一人の人権が守られる社会だったのではないのでしょうか。仰ぎ見つつ、途上の生を引き受けた方々の姿を思います。懐かしいシメオンたち、アンナたちの願い、祈りです。

今私たちが70年後の人々の為にできる種まきは何だろうかと考えます。先行きが見えない中において、骨の髄で考えて、手渡していかなければ。この年のクリスマスはことさらに、平和への祈りをと思わされていきます。

(日本基督教団東鴨ときわ教会牧師)

関東活動センター

●関東フォーラム「宗教対話II」

「牧師と読もう！大人に響く絵本」
第3回「どう生きる？」

日本基督教団早稲田教会牧師 古賀 博さん
2014年11月28日(金)
日本基督教団早稲田教会

計4回の連続講座「牧師と読もう！大人に響く絵本」第3回は11月28日に早稲田教会にて開催された。

今回は古賀博牧師(早稲田教会)が、「どう生きる？」をテーマに自らの絵本体験を語った。

長女の子育てに夫婦して悩んでいる時、ある集会の礼拝で佐野洋子さんの『さかな一びきなまのまま』に出会い、大きく心揺さぶられたという古賀氏。

その後、絵本の宅配サービス(長崎の童話館)を知り、子どもの年齢にあった2冊を毎月入手するように。それらをお連れ合いが寝る前にも読んで読み聞かせし、その感想を聞く中、次第に自らも絵本を読み、それを味わうように

なってきたとお話。

説教に苦心する中、絵本からインスピレーションを得て、聖書の読みにつけてきたとのこと。繰り返し読んで、自らの生き方や信仰を整え、また説教にも実際に取り上げてきたという三冊が、聖書箇所と共に紹介された。

『あんばんまん』(やなせたかし・フレールベル館)からはイザヤ書53章「苦難の僕」を、『3びきのかわいいおおかみ』(トリビザス、オクセンバリー・富山房)からはヨハネ3章16節を、そして『おじさんのかさ』(佐野洋子ノ講談社)にはマタイ25章の「タラントンの譬え」を思わされた。絵本のメッセージと聖書のみ言葉との響き合いを自らの観点で展開された。

最終回(第4回)は、2月27日に増田琴牧師が担当で開催予定である。

●協力プログラム

『並木浩一著作集』完結記念シンポジウム

主催：並木浩一著作集完結記念シンポジウム実行委員会
2014年11月28日(金)
日本基督教団中渋谷教会

2014年11月28日金曜日、18時から20時半、東京・中渋谷教会を会場に「並木浩一著作集完結記念シンポジウム」が開催されました。

並木浩一氏はヨブ記研究などで知られる、日本を代表する旧約学者の一人です。2013年から2014年に『並木浩一著作集』全三巻(日本キリスト教団出版局)がま

とめられ、今回のシンポジウムが企画されました。当日は120人あまりが集い、並木氏本人も迎えて、満席の会場は熱気に包まれました。

登壇したのは、かつて並木氏の学生であり、氏の思想の力に圧倒された方々です。永野茂洋氏(明治学院大学教授)が司会者となり、小友聡氏(東京神学大学教授)は「旧約学者としての並木浩一」を、森



主のご降誕を
お祝い申し上げます。



本あんり氏(国際基督教大学教授)は「教師としての並木浩一」を、高橋一氏(日本基督教団教師)は「信仰者としての並木浩一」を、奥泉光氏(小説家)は「表現者としての並木浩一」を論じました。高橋一氏は、並木氏の信仰の特徴として、「ものを考えること」を信仰との関連で排除しないという点を挙げました。懐疑と信仰。この一見矛盾する要素が、並木浩一という巨大な知識人・信仰者の中にも存在し、それが氏の聖書を独自のものに育てたばかりか、教師としても大学行政者としても氏の真摯な働きを形成したこと。そして懐疑と信仰の間での氏の格闘が、続く世代に深い影響を与えたことを思わされました。(報告 土肥研二)

関西セミナーハウス活動センター

●修学院フォーラム「社会」第2回

「日本は暗い時代に向かっているのだろうか? 集団的自衛権、特定秘密保護法について考える」

文筆家 佐藤 優さん
2014年11月8日(土)



安倍政権によってもたらされている特定秘密保護法、集団的自衛権 憲法解釈の変更などにより、「戦争のできる国」への足音が響く昨今、政治家でありつつ神学者でもある佐藤氏は、キリスト者としての視座を大切にしながらそれにこだわりつつ時代を見ている姿が印象的であった。その深く広い知識からキリスト教にとどまらず、宗教界全般の動きを見つめながら、また

今の日本の政治がどうなっているのかなどについて次のように語られた。

自分は宗教家として、宣教師活動の一環として今の活動をしている。中世から近代、現代にかけて宗教に対する考えが大きく変わっている。第一次大戦により自由主義神学が崩壊し、以来、神不在のような時代になってきている。その中で、どう宣教するか、心をどう捉えるかが現代の問題である。今は人類の途上にある福音が説かれるべき時だろう。

アベノミクスによる政治は、知性を通じない世界である。集団的自衛権の行使を認めることにより、実際には世界的に孤立することになる。なぜならば国家秘密の根幹に

関しては、首相はアメリカから門外漢におかれている。そのことが政治家エリートにはよく見えていないからである。複雑な時代にあつて、信仰の基本を押さえていくことの大事さが説かれた。



●「開発教育セミナー」第5回

映画上映『ある精肉店のはなし』+ ワークショップ『いのちの食べ方を問う〜食卓の牛肉から見える世界』

ワークショップ講師：北出 昭さん(北出精肉店)
丸山まり子さん(開発教育セミナー運営委員)

2014年11月9日(日)
会場：同志社中学校・高等学校

今回の開発教育セミナーは、午前中映画鑑賞、午後はワークショップ、という1日での実施であった。



午前中は同志社中学校の魁ホールにて映画「ある精肉店のはなし」を鑑賞した。縦縞あや監督自ら約2年間貝塚市に住み込み、家族で屠畜と精肉店を経営されている北出さん一家を撮影したドキュメンタリー映画で、2014年度の文化庁記録映画大賞を受賞している作品である。家族で牛を飼育し、屠畜して精肉を販売する仕事を代々

続けてきた北出さん一家の日常が暖かな眼差しでとらえられており、ナイフ一本で牛を捌いていく技術の高さに目を奪われる。

午後は同志社中学校の社会科学演習室にて、映画の北出精肉店の北出昭さんをゲストにお招きし、開発教育研究会が作成した教材「いのちの食べ方を問う〜食卓の牛肉から見える世界」を使ってワークショップを行った。

午前中見た映画の北出さんのお話を直接聞けるという貴重な機会を得て、参加者も屠畜や精肉についての様々なことを、身近に感じながらワークショップに参加していた。屠畜は「いのちを奪うのではなく、生かす仕事」という北出さんの言葉が印象的だった。

最後は、北出さん自らが皮をなめして作られた太鼓の演奏に、参加者一同感銘を受けて終了した。



プログラム案内

◆**関東活動センター**

■**聖書講座(入門編)**

「まちがったっていいじゃないか!の福音書」

—マルコによる福音書を読んでみましょう—
(全5回)

講師:柳下明子さん(日本キリスト教団武蔵野緑教会・日本聖書神学校教授)

日時:①2015年1月15日②2月12日 木曜14:00~15:30

会場:早稲田奉仕園セミナーハウス100号室

参加費:1,200円/学生500円(全回5,000円/学生2,000円)

共催:早稲田奉仕園

■**聖書を読む会「あたらしい聖書の学び」**

「イエスの世界の女性たち」(全10回)

講師:山口里子さん(日本フェミニスト神学・宣教センター共同ディレクター)

日時:⑨2015年1月13日⑩2月10日、火曜18:30~20:00

会場:早稲田奉仕園スコットホール2階222号室

参加費:1,200円/学生500円

共催:早稲田奉仕園

■**関東フォーラム宗教対話 I**

「古典で読む20世紀」

第4回「S. キルケゴール『現代の批判』」

財団本部

<http://www.academy-nippon.com>

関東活動センター

<http://www.academy-tokyo.com>

関西セミナーハウス

<http://www.kansai-seminarhouse.com/>

関西セミナーハウス活動センター

<http://www.academy-kansai.org>

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー

代表理事 小久保 正

本部事務局

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
TEL 075-711-2147
FAX 075-701-5256

関東活動センター

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館6F
TEL 03-3207-6198
E-mail:info@academy-tokyo.com

関西セミナーハウス /

関西セミナーハウス活動センター
〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
FAX 075-701-5256

関西セミナーハウス

TEL 075-711-2115
E-mail:info@kansai-seminarhouse.com

関西セミナーハウス活動センター

TEL 075-711-2117
E-mail:office@academy-kansai.org

日時:2015年1月23日(金)

18:30~20:30

講師:武田利邦さん(農村伝道神学校講師)

会場:早稲田教会ロビー

参加費:500円

■**関東フォーラム宗教対話 II**

「大人に響く絵本」第4回

講師:増田 琴さん(日本基督教団巣鴨とぎわ教会牧師)

日時:2月27日(金)15:00~17:00

会場:早稲田教会ロビー

参加費:500円

◆**関西セミナーハウス 修学院きらら山荘**

■**月釜 清心会**

日時:2015年2月8日(日)9:00~15:00 受付(1、8月を除く年10回)

於:関西セミナーハウス

年会費:5,000円、臨時会費1,000円

◆**関西セミナーハウス活動センター**

■**修学院フォーラム「エネルギーを考える」**

第3回「原発、この避けて通れない課題とどう向かい合うか」

「原発の安全性、経済性、倫理性」

講師:植田 和弘さん(京都市大学大学院経済学研究科長)

「あらゆる核から解放された世界の実現のために 一世界の教会が大切に行っている視点とは」

講師:西原 廉太さん(立教大学副総長)

日時:2015年1月11日(日)16:00~12日(月祝)16:00

会場:関西セミナーハウス

参加費:一般 13,000円、学生 5,000円(1泊3食込)

■**修学院フォーラム「いのち」**

第2回「福祉とスピリチュアリティー—社会福祉の根源にあるもの」

講師:木原 活信さん(同志社大学社会学部教授)

日時:2015年1月24日(日)13:30~17:30

会場:関西セミナーハウス

参加費:一般 2,000円、学生 500円

第3回「グリーンケアを考える—人は大切なものを喪失し、なぜ悲しみ嘆くのか」

講師:高木慶子さん(上智大学特任教授、上智大学グリーンケア研究所特任所長)

日時:2015年2月28日(日)13:30~16:30

会場:関西セミナーハウス

参加費:一般 2,000円、学生 500円

宿泊研修施設

関西セミナーハウス

<修学院きらら山荘>

各種セミナー、会議、合宿、
修養会、ご宿泊等に。

茶室、能舞台もあります。

お問合わせはフロントまで。

TEL 075-711-2115 (代)

賛助会費・寄付金報告

2014年10月1日~2014年10月31日
(順不同・敬称略)

◆財団本部	
賛助会員(終身会員)	
野田 純一	100,000
寄付金	
日本基督教団早稲田教会	25,000
◆関東活動センター	
賛助会費	
大鹿 康廣	3,000
根津 建	5,000
竹政 志郎	5,000
寄付金	
西村 久代	5,000
神学生交流プログラム募金	
小久保 正	10,000
松原 千里	3,000
平野 正	10,000
関田 寛雄	10,000
早稲田奉仕園	10,000
荒井 献	5,000
聖公会神学院	50,000
橋口 仁	2,000

◆**関西セミナーハウス**

寄付金

牛藤 宣夫	10,000
武藤 高司	10,000

◆**関西セミナーハウス活動センター**

賛助会費

岩崎 裕保	5,000
中上 卯一郎	5,000
柳原 清美	3,000
三浦 恒久	5,000

寄付金

坂口 みどり	3,000
--------	-------

もみじまつり寄付金

税理士法人トーマツ京都事務所	20,000
小久保 正	7,000
白子 宗令	10,000
立石 嘉子	10,000
八田 一郎	4,000
福岡 誠之	3,000
角 多平	4,000
榊柴橋商会	10,000

以上、感謝をもってご報告申し上げます。